

# OCD V2 User Manual



## 各コントロールについて

Volume	音量を調節します。
Drive	より歪ませたい場合は時計回りに回し、よりクリーンなサウンドを得たい場合や、基本的なトーンを変えずにアンプの入力をブーストしたい場合は 10 時方向より下に保ちます。
Tone	反時計回りに回すとハイゲイン・リードサウンドがよりスムーズになり (Drive ノブを 12 時よりも高く設定した状態で)、時計回りに回すとカット感が増し、コンプレッション感が減ります。
ON/OFF Footswitch	オン / オフを切り替えるスイッチです。

## 入出力について

INPUT	1/4" モノラル標準フォン入力端子
OUTPUT	1/4" モノラル標準フォン出力端子

## 電源について

### DC INPUT

高品質で安定化された 2.1mm x 5.5mm プラグの 9 ~ 18VDC センターマイナス 電源で動作します。

### BATTERY

9 ボルト電池で動作可能です。

電池交換の際は、筐体左右のネジを回して外し、ペダルの上部と下部を分離して電池を交換します。

## True-Bypass/Enhanced Bypass セレクトスイッチについて

長年にわたり、平均的なギタリストのリグは数台のペダルで構成されており、トゥルー・バイパス (TB) スイッチングがクリーンな信号経路を実現する究極の方法でした。今では、ほとんどのギタリストは 10 台以上のペダルを備えた、手の込んだペダルボード使用しており、複数のジャンパー・ケーブル、複数のエフェクター (トゥルー・バイパスであっても) により、トーンやダイナミクスの損失が発生し、ピッキングニュアンスの違いにアンプが反応しなくなります。エンハンスト・バイパス (EB) は、Fulltone 独自のバイパス・システムで、ケーブルや他のペダルによって失われたダイナミクスとトーンを取り戻します。バイパス方式の切り替えは、4 つの蝶ネジを全て外し、バイパス・スイッチを上 (EB) または下 (TB) にスライドさせることで選択できます。

注意：スイッチは真ん中ではなく、完全に上下に設定してください。

## OCDV2 について

Fulltone Obsessive Compulsive Drive (OCD) は、非常にオープンなサウンドのオーバードライブ / ディストーション回路で、他のオーバードライブとは異なり、ダイナミックレンジが非常に広がっています... つまり、ピッキングニュアンスの違いで、従来のダイオードクリップのオーバードライブよりも、コンプレッション感の少ないより自然で幅広い歪みが得られます。また、アンプやギター本来のトーンを変えることなく、複雑な倍音を作り出します。OCD は、JFET オペアンプをオーバードライブさせ、回路の後半で 1 組の MOSFET をハードクリップさせるという珍しい組み合わせによって、チューブライクな歪みを実現しています。出力ボリュームが大きいため、一般的な OD よりもはるかにハードにドライブさせることができます。

DC18V でも動作し、ダイナミックレンジと明瞭度が格段に向上します。V2 の変更点として、スイッチング FET の両方を A クラスに設定し FET をゲイン用に設定することで、たとえわずかなゲインでも、すべてのダイナミクスがバツファされる、"Enhanced Bypass" を搭載。ペダルボードのどこに配置しても、サウンドは一貫したままサウンドに良い影響を与え、ペダルのハードクリッピングステージへの負荷を軽減し、サウンドと倍音の両方のサステインを向上させます。また、クラス A 構成のディスクリート 2N5457 JFET インプット・セクションにより、インプット・インピーダンスを 1MΩ (従来は 330K) に引き上げ、ダイナミクスを向上。新機能 "Enhanced Bypass" と "True-Bypass" を選択できる内部スイッチを搭載しました。